

令和 8 年 度  
仁 尾 福 祉 会  
事 業 計 画 書



社会福祉法人  
仁尾福祉会

# 令和8年度仁尾福祉会事業計画

本計画は、法人理念を軸に、将来を見据えつつ、現在の事業を着実に積み重ねていくことを目的としています。

## 1. 基本方針

### (1) 基本理念

あたりまえで、ごくふつうの生活をおくれるように支援します。

〔 利用して頂く方々、職員及び地域の皆様が、ご自身にとってあたりまえで、ごくふつうの生活をおくれることができるように“今この瞬間”を大切に私たちは頑張ります。 〕

### (2) 運営理念

- 一、 地域に根ざし、支え、支えられ、貢献する施設をめざします。
- 一、 地域で住み慣れた生活を続けられるための福祉拠点の役割を果たします。
- 一、 気付き、考え、行動する人材育成をします。

### (3) 行動指針

- 一、 わたしたちは、人生の先輩を敬います。
- 一、 わたしたちは、人生の先輩の自律をお手伝いします。
- 一、 わたしたちは、人生の先輩を愛し、利用者本位に徹します。
- 一、 わたしたちは、人生の先輩にまっすぐ、真摯に向き合います。

上記を基に、常に謙虚な姿勢を忘れず、職員全員が法人理念の具現化に向けて機能する組織運営を行います。

## 2. 事業計画

### (1) 事業運営基本計画

- ① 特別養護老人ホームにお荘 運営事業
  - ・ 介護老人福祉施設事業(香川県指定)
  - ・ 短期入所生活介護事業(香川県指定)
  - ・ 介護予防短期入所生活介護事業(香川県指定)
- ② 老人デイサービスセンターにお荘 運営事業
  - ・ 通所介護事業(香川県指定)
  - ・ 介護予防・日常生活支援総合事業(三豊市、観音寺市指定)
- ③ 老人介護支援センターにお荘 運営事業
  - ・ 居宅介護支援事業(三豊市指定)
  - ・ 介護予防支援業務、介護予防ケアマネジメント(総合事業)業務

(三豊市、観音寺市地域包括支援センター委託事業)

- ④ 地域密着型特別養護老人ホームにお荘 運営事業
- ・ 地域密着型介護老人福祉施設事業(三豊市指定)
  - ・ 短期入所生活介護事業(香川県指定)
  - ・ 介護予防短期入所生活介護事業(香川県指定)

(2) 広報活動

- ・ 「にお荘だより」の発行(年 6 回)

本年度は、将来を見据えた中長期視点を持ちながら、現在事業の安定運営と人材基盤の強化を重点目標とします。

(3) 全体目標

① 2040年問題(中長期計画)

- a. 団塊世代が85歳以上、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年を見据え、生活志向や価値観の変化に対応したサービス提供を検討します。
- b. 空床化が進むことも想定される中で、「選ばれる施設」となるための運営を追求します。
- c. 高齢者人口減少時代に対応するため、SNS を活用した情報発信を強化し、地域住民が施設に触れる機会を増やします。
- d. デイサービスを中心に行っている地域貢献活動を、法人全体へ波及させていきます。

② 感染症対策

- a. 平常時は過度な制限を行わず、流行時には面会制限等を含め、状況に応じた柔軟な対応を行います。

③ 社会福祉法人としての役割

- a. 行政サービスが行き届きにくい地域において、仁尾福祉会が地域福祉の拠点となることを目指します。
- b. 役職員が法人運営に主体的に参画できるよう、情報共有を行い、広い視野を持った人材育成に努めます。
- c. 公益的取組として、5月5日(予備日6日)に花火の打ち上げを開催します。

④ 施設改修

- a. 大規模改修は概ね完了していますが、将来的な空調更新等を見据え、補助金活用を含めた計画策定を行います。
- b. 老朽化したキュービクルの更新工事を実施します。

⑤ 人材・利用者の確保

- a. 採用 PR 動画や SNS を活用し、新卒採用および人材確保に取り組めます。又、男性活躍型デイサービス紹介動画を制作します。
- b. 理念に基づいた人材育成と組織運営を行い「共に生活する介護」を実践できる職場づくりを進めます。
- c. 実習受入や外部取材を通じて、にお荘の魅力発信と将来の採用につなげます。

#### ⑥人材育成・資格取得支援

- a. 各種研修への積極的参加により、専門性の向上を図ります。
- b. 中間管理職会議を毎月開催し、目標・財務状況の共有と意識統一を行います。
- c. 資格取得に対する貸付制度を活用し、専門職集団としての体制強化を図ります。

#### ⑦災害対策

- a. 南海トラフ地震等に備え、備品・非常食の整備と職員の危機意識向上に努めます。

#### ⑧利用者の確保（財務）

##### ○特別養護老人ホームにお荘（介護老人福祉施設）

- ・ 令和7年度は、1日平均49.0名利用を目標に取り組んだ結果、1日平均48.7名の利用実績見込みです。
- ・ 令和8年度は、1日平均49.0名を目指します。

##### ○地域密着型特別養護老人ホームにお荘

- ・ 令和7年度は、1日平均19.5名利用を目標に取り組んだ結果、1日平均19.5名利用実績見込みです。
- ・ 令和8年度は、1日平均19.5名を目指します。

##### ○特別養護老人ホームにお荘（（介護予防）短期入所）

- ・ 令和7年度は、1日平均9.5名を目標に取り組んだ結果、1日平均9.6名利用実績見込みです。
- ・ 令和8年度も、1日平均9.5名を目指します。

##### ○デイサービスセンターにお荘（通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業）

- ・ 令和7年度は、1日平均29.0名を目標に取り組んだ結果、28.1名の実績見込みです。
- ・ 令和8年度は、1日平均30.0名を目指します。

##### ○老人介護支援センターにお荘（居宅介護支援）

- ・ 令和7年度は、月平均125件の目標に取り組んだ結果、月平均133.8件の実績見込みです。



- ・ 令和8年度は、月平均130件を目指します。
- ・ 特定事業所加算の算定を継続します。

## 特別養護老人ホームにお荘

### 〈コンセプト〉

○入居しても、自宅と同じ生活がおくれます

### 〈キャッチコピー〉

○仁尾町で私たちと一緒に生活しませんか

### 〈目 標〉

○特別養護老人ホーム(入所)では

- a. にお荘を施設として考えるのではなく住まいとして考え、ハード・ソフト両面から、援助方法を見直します。施設へ入居した為に生活が制限されるのではなく、ご自宅と同じように自分らしく生活していただく為に、“今なにをしたいのか？”をご利用者と共に考え、施設サービス計画書に反映すると共に、言葉を代弁し実行していきます。また、ご利用者に対してまっすぐ真摯に向き合い、“一緒に生活できて、幸せ”とさせていただける職員を目指します。
- b. 嘱託医と連携を図り、少しの体調・状況等の変化時でも家族へ密な連絡をとり、信頼関係を構築し、家族も含めチームでご利用者の生活を支援します。
- c. 誰にとっても、食事の楽しみは大きいと考えます。委託業者と話し合いを重ね、“楽しみ”“喜び”を実感できる食事提供を考えます。バイキング、リビングキッチンでの調理等、五感を使って楽しめる食事を目指します。
- d. 現在、入居されるほとんどの方が、最期までにお荘での生活を望まれています。日常生活の延長に看取りがあると考え、日々の生活を自分らしく生きていただくことを念頭に、ご利用者の願いに耳を傾け、寄り添い、“にお荘で良かった”と感じていただく為に努力します。
- e. 浴室改修により、全て個室となりました。個室の存在価値を熟考します。
- f. 看護、介護等全職員でノーリフティングケア（持ち上げない、抱えない、引きずらない）に取り組んでいます。施設内において定着するように、技術を向上させます。

○特別養護老人ホーム(短期入所)では

- a. 環境の変化による不安や戸惑いが懸念されるため、常に、ご利用者、ご家族とコミュニケーションを図り、介護支援専門員と連携をとりながら、安心して過ごしていただけるように努めてまいります。
- b. ご本人の希望ではなく、ご家族の都合で短期入所を利用される方も少ないとは言えません。そのような方が、2回3回と利用するにつれ、「泊まりに行きたい」と思える援助、環境を目指してまいります。又、短期入所を利用するなら『にお荘が良い』と要望される事業所を目指してまいります。
- c. プライバシー改修工事の関係で定員が減少となりましたが、空床利用も考慮に入れ、ご利用したい時にご利用していただけるよう、迅速に対応していきます。



### 〈行動計画〉

- ① ご利用者の健康管理に留意します。
- ② ご利用者の心身の状態を把握し、個別ケアに努めます。
- ③ ご利用者にとって人生の最期の場として、ご家族とご利用者が共に安心して生活できる環境整備に努めます。
- ④ ご利用者の日常生活を支える為、職種間の連携・協働に努めます。
- ⑤ ご利用者・ご家族に信頼していただけるよう、職員の資質・サービスマナーの向上に努めます。

○にお荘が、地域コミュニティのひとつとして、地域の方々と関わりが持てるように、外出の機会を増やし、施設外からも多くの方々の訪問を目指すことを目標に置きます。

### ○ホーム・ショートステイ 年間サービス計画

・各月において季節の移り変わりや行事を感じていただけるよう施設内外での取り組みを行います。

月	行 事 内 容	訪 問 ・ ボ ラ ン テ ィ ア
4 月	お花見（曾根果樹園・不動の滝・朝日山） 園外散歩(海側遊歩道)	
5 月	花火打ち上げ 施設見学会 新緑ドライブ	仁尾小学校・幼稚園訪問
6 月	あじさい見学	
7 月	七夕祭り(七夕飾り作り)	曾保小学校(寄せ植え)
8 月	仁尾竜祭り見学	理容組合
9 月	敬老会、八朔人形祭見学、消防・防災訓練	仁尾小学校(寄せ植え)
10 月	運動会、秋祭り（ちょうさ・獅子舞）	仁尾小学校
11 月	紅葉見学	仁尾こども園
12 月	忘年会・餅つき大会	尺八演奏 ・理容組合
1 月	初詣（賀茂・八幡神社）・お茶会	仁尾こども園
2 月	節分祭	
3 月	ドライブ 園外散歩 消防訓練	理容組合

- ・ 定例行事・・・ 誕生会(第3週) 訪問理容サービス(ヒロ理容室：第2月曜)  
(河田理容室：第3月曜)  
喫茶(月の行事に合わせて) 手作りおやつ(第4週)  
バイキング(行事に合わせて)

○定例行事以外には、一人一人の希望に沿った活動として、外食や外出、花や野菜の植え付けなどを行います。また、体操やカラオケ、音楽鑑賞などの活動を提供していきます。

## 地域密着型特別養護老人ホームにお荘

### 〈コンセプト〉

○入居しても、自宅と同じ生活がおくれます

### 〈キャッチコピー〉

○仁尾町で私たちと一緒に生活しませんか

### 〈目 標〉

○地域密着型特別養護老人ホーム(入所)では

- a. ユニットケアの理念「暮らしの継続」が最大限発揮でき、介護が必要な状態になっても、その方にとってごく普通の生活が送れ「自分らしい暮らし」が実現できるようご利用者の生活、援助を考えます。その為に、「ユニットケアとはなにか？」を、正確に理解し、ご利用者に対してまっすぐ真摯に向きあえる職員を目指します。
- b. ご利用者一人ひとり、考え方、好み等は相違するのがあたりまえで、職員の目線＝業務主導ではなく、ご利用者の目線＝利用者主導で物事が考えられるよう努力します。また、ご利用者＝「お客様」であり「人生の先輩」です。共に生活をさせていただく中で、ご利用者それぞれ関わる距離感は違いますが、丁寧な言葉遣いや態度等敬意をもった関係性構築する事を目指します。
- c. 嘱託医と連携を図り、少しの体調・状況等の変化時でも家族へ緊密な連絡をとり信頼関係構築を目指します。
- d. 誰にとっても、食事の楽しみは大きいと考えます。委託業者と話し合いを重ね、“楽しみ”“喜び”を実感できる食事提供を考えます。バイキング、リビングキッチンでの調理等五感を使って楽しめる食事を目指します。
- e. 現在、施設での最期を望まれ、迎えられる方は、ほぼ100%の状況です。入居された時点で高齢の方も多く、余命は少ないものと考えられます。地域の中の施設であることを再認識し、施設へ入居したために生活が制限されるのではなく、少しでも生活を充実させていただくために、“今なにをしたいのか？”ご利用者と共に考え、施設サービス計画書に反映すると共に、言葉を代弁し、実行していきます。
- f. 看護、介護等全職員でノーリフティングケア（持ち上げない、抱えない、引きずらない）に取り組んでいます。施設内において定着するように、技術を向上させます。

### 〈行動計画〉

- ① 過去に身に付けた福祉理論にとらわれず、現在の福祉理論を柔軟に学び直します。
- ② 全室個室であることのメリットを最大限発揮し、ご利用者にとって人生の最期の場として、ご家族とご利用者が共に安心して生活できる環境整備に努めます。
- ③ ご利用者の日常生活を支える為、職種間の連携・協働に努めます。
- ④ ご利用者・ご家族に信頼していただけるよう、職員の資質・サービスマナーの向上に努めます。



○にお荘が、地域コミュニティのひとつとして、地域の方々と関わりが持てるように、外出の機会を増やし、施設外からも多くの方々の訪問を目指すことを目標に置きます。

## 老人デイサービスセンターにお荘

### 〈コンセプト、キャッチコピー〉

○あなたが活躍できる場所

### 〈心得〉

○「してあげる」より「してもらおう」

○自分から「たすけて」と伝える

○「ありがとう」を相手に伝える

### 〈そのための取組〉

○職員が従来型の「仕事」を手放す

○解決や完成を目指さない

○最も重要な仕事は「おねがいすること」

### 〈目 標〉

○老人デイサービスセンターにお荘では

- a. ご本人の状態や生活歴、希望、家庭の状況等についてアセスメントを充実させご利用者のこだわりを大切にします。又、認知症実践者研修修了者を中心に、ひとりの人としての対応を、まっすぐ真摯に行います。
- b. ご利用される方の介護度が、軽度化しております。介護を行うのではなく、ご利用者と職員が共に活動し、脱画一化を図ります。具体的には、幼稚園式デイサービスから脱却し、ご利用者の価値が高まる活動を職員と共に実施します。(例:雑巾を縫う、千羽鶴を折る、食材を買い出しに行き、料理を作る、野菜を作る)
- c. 集団での入浴に抵抗がある方も多くなっています。個浴の存在価値を探求します。
- d. ご本人、ご家族や居宅介護支援事業所、また、他の居宅サービス提供事業所と密にコミュニケーションを図ると共に当事業所の魅力を発信し、ご本人、ご家族、関連事業所から選ばれるデイサービスセンターを目指します。居宅介護支援事業所宛活動報告(葉書)を郵送します。
- e. リハビリ専門職理学療法士を配置しています。にお荘でのリハビリの意義は、つぎの活躍につなげる為であることを、世間に発信し、自立をお手伝いする地域の中心的施設を目指します。
- f. 他者の為、地域の為になる活動を意識して、日々の活動を行い、発信していきます。
- g. 他施設との差別化の為、エントランスに、和傘を設置し和風空間を加速させています。お店であることを意識し、職員の制服を、和風に変更します。

### 〈行動計画〉

- ① ご利用者の健康管理に留意します。
- ② ご利用者の心身の状態や生活の歴史を把握し、個別ケアに努めます。
- ③ ご利用者をお客様と考え、おもてなしの精神でサービスを提供します。
- ④ ご利用者の日常生活を支える為、職種間の連携・協働に努めます。
- ⑤ ご利用者・ご家族に信頼していただけるよう、職員の資質・サービスマナーの向上に努めます。



○年間行事・レクリエーション計画

月	行事	活動
4月	・花見ドライブ	・そら豆、スナップえんどう収穫・夏野菜植え付け
5月	・海岸散歩	
6月	・紫陽花見学ドライブ	
7月	・七夕飾り作り	・夏野菜収穫・なす、きゅうりの漬物作り
8月	・仁尾竜祭り見学	・夏野菜収穫・なす、きゅうりの漬物作り
9月	・八朔人形まつり見学 ・コスモス見学ドライブ	
10月	・秋祭り見学 ・海岸散歩	・さつまいも・しいたけ収穫 ・干しいたけ作り
11月	・紅葉見学ドライブ	・渋柿収穫・干柿作り
12月	・クリスマス飾り作り ・干支の作品作り ・餅つき	
1月	・新年会 ・神社初詣 ・絵馬作り	・大根収穫・切干大根作り・大根の漬物作り
2月	・節分行事	・大根収穫・切干大根作り・大根の漬物作り・きんかん収穫
3月	・ひな祭り飾り作り	・椎茸菌植え付け

- ・活動:おやつ作り  
  - 季節の作品作り
  - 畑作業 畑で収穫した野菜を使用しての調理
  - 手芸(雑巾を縫う等)
- ・体操(心身の向上に努める)

## 老人介護支援センターにお荘

### 〈目 標〉

- a. 相談しやすい地域の窓口として支援を提供  
高齢者や家族が抱える生活・介護の不安に対し、安心して相談できる身近な窓口として対応します。信頼関係を大切にし、相談しやすい環境を整えます。
- b. 住み慣れた地域での生活継続を支える  
要介護となっても自宅で自分らしく暮らせるよう、ケアプランを作成し、医療・介護・行政・地域と連携して個別課題の解決を支援します。
- c. 多様化する困難ケースへの対応強化  
認知症、若年性認知症、老老介護、独居、虐待など在宅生活が不安定なケースに対し、介護サービスの相談・紹介、関係機関との連携を進め、利用者と家族の安心を支えます。
- d. 専門性を高め、質の高いケアマネジメントを提供  
特定事業所加算を活用し、主任介護支援専門員を中心に支援困難ケースへ積極的に対応します。地域全体に質の高いケアマネジメントを提供できる体制づくりを進めます。

### 〈行動計画〉

- ① 地域における総合相談支援  
高齢者の生活・介護に関する相談に対し、地域関係者と連携しながら、発見から相談対応、サービス利用まで丁寧に支援し、地域の相談窓口としての役割を強化します。
- ② 在宅生活継続のためのケアマネジメント  
利用者の意思決定支援を重視し、本人の希望を丁寧に反映したケアプランを作成します。公平中立の立場を徹底し、サービス選択の支援を適切に行います。
- ③ 医療機関との連携  
地域連携室・相談室との協力、医療・介護連携シートや通院時情報の共有を通じて、医療機関との連携を強化し、スムーズな在宅復帰を支援します。
- ④ 関係機関、団体との連携  
三豊市介護保険課、観音寺市高齢介護課、三豊市および観音寺市地域包括支援センター、三豊市社会福祉協議会の各担当者とも密接な連携を図ります。
- ⑤ 人材育成への取り組み  
特定事業所加算Ⅱの算定事業所として、介護支援専門員実務研修の実習受け入れに協力し、新たなケアマネジャーの育成に取り組みます。
- ⑥ ICT活用・業務効率化の推進  
タブレットの活用を進め、業務時間の削減を図ります。オンライン研修や会議、医療機関等との情報共有を効率化します。ペーパーレス化を進め、書類管理の効率化を目指します。

○年間事業計画

月	事業名	備考
偶数月	三豊市医療介護連携勉強会	居宅介護支援事業
年3回	三豊市介護支援専門員研修会	居宅介護支援事業
年3回	三豊市主任介護支援専門員連絡会	居宅介護支援事業
年3回	観音寺市介護支援専門員連絡会	居宅介護支援事業
年1回	他法人との連絡勉強会	居宅介護支援事業
不定期	特定事業所加算算定要件研修等	居宅介護支援事業
不定期	法人内研修・訓練・各種委員会への参加	居宅介護支援事業
毎週	定例会議・ケース会議	居宅介護支援事業
通年	ケアプラン作成	居宅介護支援事業